

# 「白山手取川ジオパーク 子どもジオ博士」の企画・運営

団体名 ● 池上ゼミナール(こどもフィールド基礎) 森永ゼミナール(こどもフィールド演習)

代表者名 ● 森永秀典(人間科学部こども学科・准教授)

## はじめに

「白山手取川ジオパーク 子どもジオ博士」は、小学4年生から6年生を対象に、白山から手取川、日本海へ至る中で繰り返される“水の旅・石の旅”をキーワードに、火山や化石、峡谷や扇状地など大地の成り立ちを、自然と人との関わりの中で楽しみながら学ぶことを目的とした活動である。こども学科池上ゼミナールの2年生と森永ゼミナールの3年生が企画・運営を行った。参加した小学生は15名である。

## 活動内容

企画の準備として、2度の下見(5月14日、28日)を行った。下見では、白山市学習生涯課の日比野さんの案内で様々な場所を回り、各地の説明を聞いた(1回目:石川白山ろく民俗資料館、手取峡谷・綿ヶ滝、吉野工芸の里、鳥越城跡、小舞子海岸、石川ルーツ交流館/2回目:百万貫の岩、白山恐竜パーク、中宮展示館、手取峡谷、白山美川伏流水群)。

当日(7月31日)の行程は、道の駅しらやまさん—百万貫の岩—白山恐竜パーク白峰—小舞子海岸—石川ルーツ交流館であった。



百万貫の岩に向かう参加者

道の駅しらやまさんでは、緊張をほぐすためにアイスブレイクを行った。初めのポイントである百万貫の岩では、百万貫の岩の成り立ちについて説明し、子供たちと岩を一周回りながら、その大きさを体感した。白山恐竜パーク白峰では、化石壁について学んだり、化石壁から採掘された岩を砕いて化石を探し

たりすることで、白山の大地に触れることができた。また小舞子海岸では、水や石の到着地点として、長い旅を実感することができた。最後に小舞子海岸で拾った石で型を取り、化石壁を細かく砕いたものを粘土に混ぜ、器を作成することで、水の旅・石の旅を感じることでできる作品を完成させた。



水の旅・石の旅を振り返る様子

## 成果、結果の考察

(参加学生のふり返りを抜粋する)「子どもとの体験活動では白山恐竜パーク白峰で参加してくれた小学生と一緒に化石の発掘体験を行ったり、石川ルーツ交流館で茶碗を作ったりといったことをしました。

発掘体験で貴重な化石を発見する子やユニークな形の茶碗を作る子がいいて、学生も楽しみながら参加することができました。」

「子どもたちと一緒に自然を感じながら体験をする貴重な経験ができました。参加してくれた小学生やご協力いただいた白山市役所の職員の方々に感謝しております。ありがとうございました。」

以上のように、水の旅・石の旅を体感することができ、子ども、学生共に、白山手取川ジオパークの目的を達成することができた。

## 今後の課題、展望

2023年2月上旬より、次年度の活動についての計画が進められている。次年度は、水と石の旅をさらに体感することができるような活動に繋げていきたい。主催:白山市生涯学習課 白山手取川ジオパーク推進協議会